

岡山都市圏版

この紙面は読者のみなさんとともにつくりま

山陽新聞社ホームページ <http://www.sanyo.oni.co>

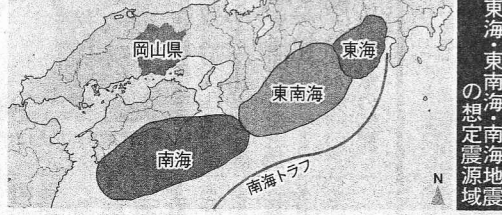
ケーブルテレビ・oniビジョンの番組「ズームアップおかやま」は、4日放送から「大地震〜岡山市の防災・減災」がテーマ。岡山大学院の内田和子教授（心用地理学）、東日本大震災被災地で医療支援に取り組んだ国際医療ボランティアA M D Aの菅波茂代表による討論要旨を紹介する。コーディネーターは江草明彦山陽新聞政治部長。（岸本渉）

大地震〜岡山市の防災・減災

3月11日発生の東日本大震災で未曾有の被害があった。多数が避難中（DMA）が、本で原発事故も継続している。一方、日本医師会の災害調査委員会では東日本大震災の発生前に、今回と震源域が近く、北関東まで津波被害をもたらした貞観地震（869年）に、ついで議論されていた。想定しなくてはならない災害だったと感じてい

内田 想定外の災害と思われたが、政府の地震調査委員会では東日本大震災の発生前に、今回と震源域が近く、北関東まで津波被害をもたらした貞観地震（869年）に、ついで議論されていた。想定しなくてはならない災害だったと感じてい

AMDAは被災地で緊急医療支援活動を展開した。課題は何か。菅波 岩手県大槌町や宮城県南三陸町などで、約150人の医師や看護師らが避難所や地域を巡回した。大災害で約50万国、1200件の医療支援をしたが、それぞれ状況が異なる。阪神大震災（1995年）では入院施設が機能した。東日本大震災では医療機関が壊滅状態で医師も被災した。津波による死者が多く、発



oniビジョンきょうから「ズームアップおかやま」



取県西部地震（2000年）、芸予地震（01年）でも目立った被害がなかったことが危機意識の低下を認識するべきだろう。内田 液状化は干拓地や埋め立て地、塩田跡地の地帯で、大阪湾周辺や東京湾の2倍以上の広さ。その中に約40万人が生活している。昭和南海地震でも被害が干拓地に集中し、多数の家屋が全壊した。当時と比べ建物が橋などの構造物が増えており、東海・東南海・南海地震が発生すると大きな被害が出るだろう。

避難場所や経路確認を

取県西部地震（2000年）、芸予地震（01年）でも目立った被害がなかったことが危機意識の低下を認識するべきだろう。内田 液状化は干拓地や埋め立て地、塩田跡地の地帯で、大阪湾周辺や東京湾の2倍以上の広さ。その中に約40万人が生活している。昭和南海地震でも被害が干拓地に集中し、多数の家屋が全壊した。当時と比べ建物が橋などの構造物が増えており、東海・東南海・南海地震が発生すると大きな被害が出るだろう。

菅波 東海・東南海・南海地震の3地震が同時に起きた宝永地震（1707年）では、瀬戸内市でも平水より1.5〜5.5高い津波が襲い、牛窓地区では多数の死者が出たという記録がある。3地震が32時間のすれで発生

ズーム 東海・東南海・南海地震。東海から四国にかけての太平洋沿岸で、今世紀前半にも起きると予測されているマグニチュード8級の巨大地震。震源域が静岡県中・西部と駿河湾一帯の場合は東海地震、和歌山県・湖岸より東の紀伊半島周辺では東南海地震、瀬戸

菅波 日ごろから親戚や知り合い宅など避難先を決めておくことが大切。避難所の生活はプライバシーや衛生、栄養の問題がある。内田 自分が住んでいる場所がどんな地形だったかを知っておくことも必要。浸水区域や避難地域を示すハザードマップ、明治時代の地形図などを活用したり、行政機関が発信する防災情報を見ることを心掛けてほしい。

菅波 東日本大震災は発生から間もなく3カ月。「正」で想定される大地震。あつ。番組を通して、防災・減災情報」が「正しく、詳しい情報」大切にしたい。紹介された街頭インタビューで市民から、被害想定や避難場所について「情報の入手方法が分からない」という

菅波 東日本大震災は発生から間もなく3カ月。「正」で想定される大地震。あつ。番組を通して、防災・減災情報」が「正しく、詳しい情報」大切にしたい。紹介された街頭インタビューで市民から、被害想定や避難場所について「情報の入手方法が分からない」という

視点

えない原発事故では、放射線量の安全基準をめぐり懸念もある。番組のテーマは岡山を下回る要因の一つである。番組を通して、防災・減災情報」が「正しく、詳しい情報」大切にしたい。紹介された街頭インタビューで市民から、被害想定や避難場所について「情報の入手方法が分からない」という